

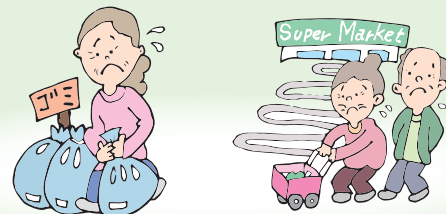
生活支援サポーターとは？

ヘルパーの資格を持っていなくても、標準型訪問サービスに従事し、支援が必要な方に対して、掃除・洗濯などの軽易な生活援助サービスを提供することができます。

なぜ生活支援サポーターが必要なの？

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送りたいと思っていても、「足が痛くてゴミを1階の集積場まで持って下りれない…」 「重いからお米を買いに行けない…」などの困りごとを抱えている高齢者の方がたくさんいらっしゃいます。

しかしながら、生活支援サポーターがゴミ捨て、買い物、掃除などの軽易なお手伝いをすることで、引き続き住み慣れた地域で暮らし続けることができます。



こんな方にオススメ

- ☒ 介護の仕事に興味がある
- ☒ すきま時間に何かしたい
- ☒ ちょっとしたお手伝いで地域に貢献したい
- ☒ ボランティアをはじめたい
- ☒ 地域での絆を深めたい
- ☒ 生きがいを見つけたい
- ☒ 特技を活かしたい



尼崎市社会福祉協議会中央支部 生活支援コーディネーターからひとこと

地域の福祉協会（町内会・自治会）が実施している地域福祉活動に参加されている方・されていない方も、生活支援サポーター養成研修でいろんなことを学ぶことで、地域福祉活動の理解が進み、取り組みやすくなります。

地域福祉活動の中には、高齢者がお茶を飲みながら、おしゃべりを楽しむ憩いの場として「ふれあいサロン」や健康の維持増進を図る「百歳体操」が実施されており、特別な取り組みではなく“地域の日常”として取り組まれています。

生活支援サポーターはこのような“地域の日常”にサポーターとして関わることで、地域で共に生きる関係づくりが深まることを期待しています。

修了者の活動紹介

活動内容：
地域の高齢者対象のふれあいサロン・昼食会を開催
中央地区活動者 A さんの声

ひとりで食事をとることが多い高齢者の方に、みんなで集まって食べる場所をつくりたいと思っていました。参加されている方から、「毎回楽しみにしています」とお声をいただき、皆さんに喜ばれています。私たちも元気をもらっています。



講師紹介

- 1 講義の重要なポイント
- 2 受講者にひとこと

岡田 久子氏 onlyone 代表

「制度理解」「チームケア」「職務の理解」(各 60 分)
「老化と疾病についての理解と介護予防」(150 分)



- 1 制度や疾患など難しく感じる事も多くあるかと思いますが、利用者さんやサポーターさんを守る大切な事でもありますので苦手と感じないようお伝えしたいと考えております。
- 2 利用者さんの一番身近な最強の味方になっていただきたいです。

稲松 真人氏

兵庫県対人援助研究所 主宰

「本人や家族とのコミュニケーション」(180分)



- 1 「社会福祉とは？」というところから、「対人援助」という「人間関係」におけるコミュニケーションについて、学びたいと思います。
- 2 あまり難しく考えず、研修を前向きに楽しむ姿勢を大切に。知識をインプットするだけでなく「考える」ということを意識してください。

中林 弘明氏

株式会社シルバージャパン
代表取締役

「自立支援の理論と実践」(120分)



- 1 超高齢社会に向けて、自立した生活とは、支援をするってどんな支援のことなのか等、介護保険制度から実践について、また、歳を老いても、元気で健康長寿を目指すポイントを学んでいただきます。
- 2 尼崎市で介護保険制度開始から 24 年間ケアマネジャーとして関わってきた経験を通して、わかりやすくお話しします。

太田 吉彦氏

(ビデオ講義・テキスト監修) 太田川口法律事務所 弁護士
成年後見等支援センター職員

「高齢者等の尊厳の保持」(120 分)



- 1 私たちの国、日本の法律の「King of Kings」は「憲法」です。では、その憲法の「King of Kings」は何なのか、皆さんご存じですか？それは、第 13 条(幸福追求権)です。
- 2 お世話する人もされる人も(この講習に参加する方もされない方も)、今より、ほんのわずかでも、「幸福」を「感じ」られれば良いがなあ、と思います。

あま社協ホームヘルプサービスセンター管理者、他
「尼崎市の現状」(60 分)

